

# 栃木北部・日向倉山

小沼 充範

- 山行年月日:2021年12月2日
- メンバー:小沼 充範
- コースタイム:上坪 11:40~925m12:30~日向倉山頂 14:30~北側ピーク 14:45~下山開始 15:00~925m16:00~上坪 16:40

栃木県北部の山に登り雪の会津の山々を眺めたいと思い、荒海太郎山の南側にある日向倉山へ登ることにした。

南会津町から国道121号線を南下し栃木県に入ると三依の大きな集落がある。三依から芹沢へむかう細い道を行くと最終集落の上坪があり、車の転回場所には「駐車禁止」の立札があるので集落の外れに広場を見つけ駐車する。11時40分出発。

水道施設の傍から砂防ダムへむかう林道に入る。「毒蛇」「スズメバチ」等の看板があり、集落の人は部外者の入山を歓迎していないようだ。送電線の巡視路を見つけ林道を離れ巡視路を登る。鉄塔の建つ標高800mの平坦地に着く。これから925mを経て日向倉山から南東へ延びる尾根を登る。尾根上には微かな踏跡が付いている。

藪の薄い雑木林で落ち葉を踏みしめながら登る。12時30分、925mピークにたどり着く。西側の沢筋に4~5頭のイノシシが逃げて行くのが見えた。標高950m付近から急な登りとなり、標高1200m付近は急な斜面のため少し西側へ

トラバースしてから登って行く。

ブナ林が広がり、14時10分、東へ延びる尾根と合流する。北側に雪化粧した荒海太郎山、七ヶ岳、磐梯山を望むことができる。シャクナゲの中を進み、14時30分、アスナロの生える日向倉山の頂上に到着する。山頂にプレートと三角点を確認する。木々があり展望が悪いので、北側のピークへ行く。北東側は急な斜面となって落ち込んでいる。15分ほどで北側のピークに着くことができ、雪の田代・帝釈山、枯木山、大嵐山、荒海太郎山を眺めることができた。周囲は古い切り株が見られ、伐採跡地のようである。

15時、下山開始。帰路は、日光連山、高原山、持丸山を眺めながら往路を下る。16時、925mピークを通過し、16時40分、上坪に到着する。山頂の東側にはブナ林が広がり、雪化粧した会津の山々を見渡すことができた。